

モニタリングサイト1000里地調査 10年の成果



～データでひも解く里山の変化と市民調査の可能性～

里地里山は、古くより日々の暮らしの場として人と自然が関わり合いながら形成されてきた場所です。集落や水田、草原や二次林などのさまざまな環境があり、多種多様な生き物を育む場としても注目を浴びています。一方で、時代とともに人々の生活様式が変化し、近年、里地里山の自然環境は大きく変化してきています。

モニタリングサイト1000里地調査は、100年間を目指して里地里山の自然環境をモニタリングする環境省事業です。全国約200か所の調査地では、地域の市民が主体となり調査を実施しています。本年度で、調査開始から10年目を迎え、ノウサギやホタルの減少などさまざまな変化が明らかになってきました。

この度、全国調査開始から10年の節目を迎えたことから、今までの成果をお伝えするシンポジウムを開催します。全国の調査成果からわかってきた重要な変化をお伝えするとともに、地域の調査員の方から各地の活動の様子を発表していただきます。身近な里地里山のことを知る機会ですので、ぜひご参加ください。

■会場：帝京科学大学 千住キャンパス 7号館
(東京都足立区千住桜木1-11-1)

■参加費：無料 (事前申込推奨)

2018年
1月20日
(土)

■プログラム

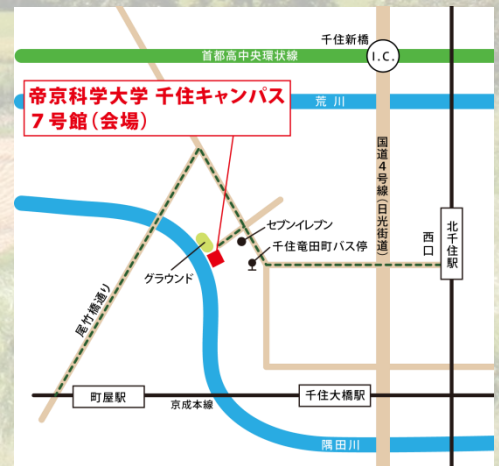
第1部では、里地調査の紹介や市民調査の重要性をお伝えするとともに、基調講演では「調査結果の読み解き方」や「調査から里山保全に活かすには」というお話を事例を交えてご紹介いただきます。第2部・第3部では、全国各地の市民調査員の皆さまより、各地の調査活動の様子をご紹介いただきます。

- 10:00 開会
- 10:05～12:00 第1部 シンポジウム
- 12:55～14:25 第2部 ポスター発表・交流会
- 14:40～16:05 第3部 各地からの事例紹介(口頭発表)
- 16:05 閉会

*受付は開始30分前からとなります。
*プログラムの詳細は裏面をご覧ください。
*当日は大学内の学食がお休みとなりますので、お昼を持参していただくか周辺のコンビニなどをご利用ください。

■会場アクセス

北千住駅または町屋駅から徒歩20分程度
(北千住駅から路線バスあり)



お申込み先・お問合せ先

資料準備のため、**事前申込**にご協力ください。

〆切：2018年1月17日(水)まで

申込み方法：下記の申込みフォームまたは連絡先まで

①お名前、②ご所属、③メールアドレス等のご連絡先をお知らせください。

■ 申込みフォーム： <https://goo.gl/SLW9zj>



←QRコードからもお申込みできます

■ 連絡先：〒104-0033 東京都中央区新川1-16-10 ミトヨビル2F
Tel：03-3553-4104 Fax：03-3553-0139
E-mail：moni1000satochi@nacsj.or.jp





■ 第一部 シンポジウム (10:00~12:00)

開会のあいさつ

川越 久史 (環境省生物多様性センター長)

モニタリングサイト1000里地調査 10年間の歩みと市民調査の可能性

最上 祥成 (環境省生物多様性センター)

後藤 なな (日本自然保護協会)

基調講演

「地元で密に・広く各地で - 全国市民調査だから見えること」 竹中 明夫氏 (国立環境研究所)

講演者プロフィール: 国立研究開発法人国立環境研究所生物・生態系環境研究センター上席主任研究員。モニタリングサイト1000里地調査の検討会委員。植物生態学、生物多様性を専門とし、多様な生物の分布パターンとその形成メカニズムの解析などの研究を行う。主な著書「森の不思議を解き明かす」(文一総合出版)、「生態系とシミュレーション」(朝倉書店)。



「多様な主体とともに里山の保全を考える ~調査から現場の保全へ~」

江田 慧子氏 (帝京科学大学)

講演者プロフィール: 帝京科学大学学校教育学科専任講師。絶滅危惧種のシジミチョウ類の保全・保護に関する研究を専門とする。学生時代から長野県および九州の阿蘇にのみ生息するオオルリシジミをテーマとし、博士(農学)を取得。また、保護活動にも積極的に取り組んでいる。主な著書「山岳科学ブックレット7 蝶からのメッセージ-地球環境を見つめよう-」、「科学絵本ちょうちょのりりい-オオルリシジミのおはなし-」(ともにオフィスエム)。第3回日本学術振興会「育志賞」を生態系分野で初めて受賞。



■ 第二部 ポスター発表 (12:55~14:25)

ポスター形式で、全国各地のモニタリングサイト1000里地調査の調査員の方に、サイトでの調査活動の様子などを紹介いただきます。

■ 第三部 各サイトからの事例紹介 (14:40~16:05)

全国の調査サイトを代表して、調査活動のようすや調査の際に行っている工夫などを紹介いただきます。

○ 講演者紹介:

コアサイト「帯広の森(北海道帯広市)」

伊藤 育子氏 (エゾリスの会)

一般サイト「長池公園(東京都八王子市)」

小林 健人氏 (NPOフュージョン長池)

一般サイト「天覧山・多峯主山(埼玉県飯能市)」

大石 章氏 (NPO法人天覧山・多峯主山の自然を守る会)

◆ 「モニタリングサイト1000里地調査」とは

「モニタリングサイト1000」とは、日本の代表的な生態系について全国約1000か所の調査サイトで100年間を目標に自然環境モニタリング調査を行い、生態系の変化の把握や異変の早期検出等をめざす環境省事業です。

「モニタリングサイト1000里地調査」は、2008年から日本自然保護協会と全国の市民調査員が協力して、現在では200か所の里地里山で調査が行われています。調査地では、調査活動のほかにも、里やま保全活動や伝統的な暮らしの伝承など、積極的な取り組みが行われています。



お問い合わせ先: 公益財団法人 日本自然保護協会

■ 連絡先: 〒104-0033 東京都中央区新川1-16-10 ミトヨビル2F

Tel: 03-3553-4104 Fax: 03-3553-0139

E-mail: moni1000satochi@nacsj.or.jp